



▲医大の学生さんたちと一緒に（中央が山下さん、左が佐藤さん）



山下さんが医大で講話

地域の高齢者福祉の実態話す

山下さんは、開所当初、ミニデイサービスの会場にはほとんど備品が整っていないかったため、地域の理解を得、4次総合計画を変更し、鍋、炬燵、冷蔵庫等備品をそろえ、現在のミニデイサービスを軌道に乗せたお話を、ユーモアを交えながら話していました。また、

6月17日、福島県立医科大学の看護学部で、高齢者ミニデイサービスの取組みについて、大倉の山下京子さんが講話を行いました。これは、看護学部の学生が、地域ぐるみの高齢者支援のあり方について、飯舘村で取り組んでいる住民参加型の現状を学ぶため、外部講師として山下さんが依頼されたものです。

応援として同行した保健協力委員の佐藤孝子さんからは、保健協力委員の役割と地区の結びつきについて話され、改めて学生たちは、地区住民のパワーを認識したようでした。



ミニデイサービス活動紹介

大倉ミニデイサービス

写真は、5月21日にやすらぎを利用して実施した大倉ミニデイサービスの様子です。

当日は11名が参加し、保健師の血圧測定、健康相談のあと、タオルを使ったストレッチ体操を行い、高齢になるとちぢみがちな筋肉や腱を気持ちよくと感ずる程度に伸ばし、血液の循環を良くさせました。その後、歌に合わせて肩たたきや手合わせゲームを行い楽しく交流を深めました。

